



2020年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月11日

上場会社名 株式会社Speee 上場取引所 東
 コード番号 4499 URL https://speee.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 大塚 英樹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 西田 正孝 TEL 050 (1748) 0088
 四半期報告書提出予定日 2020年8月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第3四半期の連結業績（2019年10月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第3四半期	6,796	—	682	—	659	—	620	—
2019年9月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2020年9月期第3四半期 620百万円 (—%) 2019年9月期第3四半期 —百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第3四半期	70.35	—
2019年9月期第3四半期	—	—

(注) 1. 当社は、2019年9月期第3四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年9月期第3四半期の数値及び2020年9月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。
 2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの、当社株式は2020年6月30日において非上場であり、期中平均株価が把握できないため、記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第3四半期	4,488	1,550	34.5
2019年9月期	3,286	918	27.9

(参考) 自己資本 2020年9月期第3四半期 1,549百万円 2019年9月期 917百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年9月期	—	0.00	—	—	—
2020年9月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年9月期の連結業績予想（2019年10月1日～2020年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,753	18.0	589	197.5	537	184.1	497	—	54.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年9月期3Q	8,900,000株	2019年9月期	8,710,000株
② 期末自己株式数	2020年9月期3Q	－株	2019年9月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年9月期3Q	8,825,109株	2019年9月期3Q	－株

(注) 当社は、2019年9月期第3四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年9月期第3四半期の期中平均株式数については記載していません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についての注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社が約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは「解き尽くす。未来を引きよせる。」をミッションとし、分散したデータを活用可能な形に整理・統合することで価値に変換するデータインテリジェンス能力をもとに複数産業の課題解決に注力しております。

具体的にはデータの利活用によって企業のマーケティングを高度化することを目指すMarTech事業、デジタル化が進んでこなかった市場において生活者（消費者）と事業者を、デジタル化を通じて最適な形でマッチングすることを目指すX-Tech事業、ブロックチェーン技術を活用してこれまで流通してこなかった企業や個人のデータの取引を可能にすることを目指すData Platform事業を運営しております。

当第3四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大に伴う緊急事態宣言発令による外出自粛により、新規顧客開拓に対して一時的な影響が生じた一方、ビジネスにおけるオンライン活用の重要性が増したことでデジタル化の加速が生じ、当社グループの事業機会を拡大しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高6,796,748千円、営業利益682,725千円、経常利益659,654千円、親会社株主に帰属する四半期純利益620,879千円となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。なお、セグメントの売上高につきましては、外部顧客への売上高を記載しております。

①MarTech事業

MarTech事業は、顧客企業のデータ資産を利活用し、マーケティング活動を高度化することを目指しており、「コンサルティングサービス」「プロダクト」の2形態からなるサービスを提供しております。「コンサルティングサービス」においては、国内企業におけるWebマーケティングの強化及びデータ活用意欲の高まりにより、案件獲得が堅調に推移しました。「プロダクト」においては、ネイティブアド配信プラットフォーム「UZOU」のアルゴリズム開発に注力し、広告主の広告効果最大化及び媒体社の満足度向上に向け取り組みました。

この結果、売上高は4,290,441千円、セグメント利益は1,271,403千円となりました。

②X-Tech事業

X-Tech事業は、デジタル化が進んでこなかった市場において、生活者（消費者）と事業者を、デジタル化を通じて最適な形でマッチングすることを目指しており、主に「イエウール」「ヌリカエ」が属しております。

営業活動が堅調であることに加え、MarTech事業で培ったWebアナリティクス技術を「イエウール」及び「ヌリカエ」に活用した結果、売上獲得に対する広告宣伝費の割合を低減させることにより、利益率の向上を達成しました。また今後の持続的な成長のため、「イエウール」「ヌリカエ」とともに、新規事業の展開へ向けて、ソフトウェア開発に関する投資を強化しております。

この結果、売上高は2,482,084千円、セグメント利益は573,022千円となりました。

③Data Platform事業

Data Platform事業は、ブロックチェーン技術を基盤としたデータプラットフォームの開発を行う一方、事業及び市場自体が黎明期であることから、主に大手企業に対して共同での実証研究や事業の提案活動に注力しました。

この結果、売上高は10,000千円、セグメント損失は164,435千円となりました。

④その他

その他には、「海外事業」「ヘルスケア事業」が属しており、サービス拡販に向けて取り組む一方、引き続きサービス開発に注力しました。

この結果、売上高は14,222千円、セグメント損失は147,652千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は3,957,198千円となり、前連結会計年度末に比べ1,193,215千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が922,423千円、受取手形及び売掛金が162,253千円増加したことによるものであります。固定資産は531,239千円となり、前連結会計年度末に比べ8,635千円増加いたしました。これは主に、ソフトウェアが75,219千円増加、ソフトウェア仮勘定が11,598千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、4,488,438千円となり、前連結会計年度末に比べ1,201,850千円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は1,922,275千円となり、前連結会計年度末に比べ405,906千円増加いたしました。これは主に、短期借入金が300,000千円、1年内返済予定の長期借入金が131,681千円増加したことによるものであります。固定負債は1,015,197千円となり、前連結会計年度末に比べ163,721千円増加いたしました。これは、長期借入金が163,721千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、2,937,472千円となり、前連結会計年度末に比べ569,627千円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は1,550,965千円となり、前連結会計年度末に比べ632,223千円増加いたしました。これは主に、資本金が5,700千円、資本剰余金が5,700千円、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が620,879千円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は34.5%（前連結会計年度末は27.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,576,435	2,498,859
受取手形及び売掛金	1,083,151	1,245,405
その他	137,880	259,624
貸倒引当金	△33,484	△46,690
流動資産合計	2,763,983	3,957,198
固定資産		
有形固定資産	41,870	32,968
無形固定資産		
のれん	55,515	45,718
ソフトウェア	32,628	107,848
ソフトウェア仮勘定	25,327	13,729
その他	2,348	2,096
無形固定資産合計	115,820	169,393
投資その他の資産	364,912	328,877
固定資産合計	522,604	531,239
資産合計	3,286,587	4,488,438
負債の部		
流動負債		
買掛金	321,274	366,122
短期借入金	—	300,000
1年内返済予定の長期借入金	397,984	529,665
未払金	216,937	241,556
未払費用	135,317	163,086
未払法人税等	205,889	626
賞与引当金	140,815	80,864
その他	98,149	240,354
流動負債合計	1,516,368	1,922,275
固定負債		
長期借入金	814,206	977,927
資産除去債務	37,270	37,270
固定負債合計	851,476	1,015,197
負債合計	2,367,845	2,937,472
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,940	36,640
資本剰余金	20,950	26,650
利益剰余金	864,715	1,485,595
株主資本合計	916,605	1,548,885
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6	△50
為替換算調整勘定	868	868
その他の包括利益累計額合計	874	817
新株予約権	1,262	1,262
純資産合計	918,742	1,550,965
負債純資産合計	3,286,587	4,488,438

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
売上高	6,796,748
売上原価	3,116,433
売上総利益	3,680,314
販売費及び一般管理費	2,997,589
営業利益	682,725
営業外収益	
助成金収入	800
その他	480
営業外収益合計	1,280
営業外費用	
支払利息	5,570
為替差損	5,870
上場関連費用	10,452
その他	2,458
営業外費用合計	24,351
経常利益	659,654
税金等調整前四半期純利益	659,654
法人税、住民税及び事業税	2,006
法人税等調整額	36,767
法人税等合計	38,774
四半期純利益	620,879
親会社株主に帰属する四半期純利益	620,879

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	620,879
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△56
その他の包括利益合計	△56
四半期包括利益	620,823
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	620,823
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	MarTech	X-Tech	Data Platform	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,290,441	2,482,084	10,000	6,782,526	14,222	6,796,748	—	6,796,748
セグメント間の内部 売上高又は振替高	886	—	—	886	—	886	△886	—
計	4,291,327	2,482,084	10,000	6,783,412	14,222	6,797,634	△886	6,796,748
セグメント利益 又は損失(△)	1,271,403	573,022	△164,435	1,679,991	△147,652	1,532,338	△849,613	682,725

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメント及びその他の収益を獲得する事業活動であり、海外事業及びヘルスケア事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△849,613千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

1. 公募による新株式の発行

当社は、2020年7月10日付で東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）へ上場いたしました。当社は上場にあたり、2020年6月10日開催の取締役会において、新株式の発行を決議し、2020年7月9日に払込が完了いたしました。概要は次のとおりであります。

(1)募集株式の種類及び数	当社普通株式 855,600株
(2)発行価格	1株につき2,880円
(3)引受価額	1株につき2,649.60円
(4)払込期日	2020年7月9日
(5)資本組入額	1株につき1,324.80円
(6)発行価格の総額	2,464,128千円
(7)引受価額の総額	2,266,997千円
(8)資本組入額の総額	増加した資本金の額 1,133,498千円 増加した資本準備金の額 1,133,498千円
(9)募集方法	一般募集（ブックビルディング方式による募集）
(10)資金の用途	運転資金として①採用費及び人件費、②広告宣伝費に充当する予定であります。

2. 第三者割当による新株式の発行

当社は、2020年7月10日付で東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）へ上場いたしました。当社は上場にあたり、2020年6月10日開催の取締役会において、野村証券株式会社が行うオーバーアロットメントによる当社株式の売出しに関連して、同社を割当先とする第三者割当による新株式の発行を次のとおり決議し、2020年8月11日に払込が完了いたしました。概要は次のとおりであります。

(1)募集株式の種類及び数	当社普通株式 146,300株
(2)割当価格	1株につき2,649.60円
(3)払込期日	2020年8月11日
(4)資本組入額	1株につき1,324.80円
(5)割当価格の総額	387,636千円
(6)資本組入額の総額	増加する資本金の額 193,818千円 増加する資本準備金の額 193,818千円
(7)割当先	野村証券株式会社
(8)資金の用途	運転資金として①採用費及び人件費、②広告宣伝費に充当する予定であります。